



2007年10月吉日

Black Hat - CMP Media

世界トップクラスのセキュリティ専門家から直接講義&実習が受けられる
『Black Hat Japan 2007 Briefings & Training』
(ブラックハットジャパン 2007 ブリーフィングス&トレーニング)
- 世界トップクラスの専門家による国際セキュリティカンファレンス -
<http://japan.blackhat.com/>

デジタルディフェンスに特化したセキュリティシンクタンク「Black Hat」(代表: Jeff Moss、本拠地: 米国シアトル、現 CMP 社デジタルセキュリティ部門)は、世界トップクラスのセキュリティ専門家から直接講義&実習が受けられ、最新セキュリティ情報の交換ができる国際セキュリティカンファレンス『Black Hat Japan 2007 Briefings & Training』を、基調講演に「奈良先端大学教授 山口英氏」、そして国際的コンピュータセキュリティ専門家を招聘し、10月23日-26日に開催する。

「Black Hat Japan」は、アメリカ・ヨーロッパ・アジアなど全世界で開催されている「Black Hat Briefings & Training」の日本版として2004年より開始。日本で4回目の開催となる今年も財団法人インターネット協会 (IAJapan、理事長: 矢野薫、所在地: 東京都港区) と共同開催し、京王プラザホテルを会場として参加者約300名強を予定している。

＝開催概要＝

日 程: トレーニング 10月23日(火)-24日(水)
ブリーフィングス 10月25日(木)-26日(金)
場 所: 東京新宿 京王プラザホテル
参加費(税込): ブリーフィング 早期 76,650円/通常 88,200円/当日 92,400円
トレーニング 各コースにより異なるため、各コース Web ページを参照
事 前 登 録: トレーニング 7月17日(火)より受付中(※座席数限定)
ブリーフィングス 7月1日(日)より受付中
早期割引〆切は9月30日(日)、最終〆切は10月19日(金)
総 合 URL: <http://japan.blackhat.com/> (日本語/英語)

■Black Hat Japan の特徴

- ・セキュリティ系の国際カンファレンスとして世界トップレベル
- ・「Black Hat Briefings」は、米国(ワシントンDC/ラスベガス)・ヨーロッパ(アムステルダム)・アジア(東京)の世界3箇所で開催
- ・講師陣は世界トップレベルのセキュリティエキスパート
- ・常に実践に即したベンダー中立による質の高い最新セキュリティ事情や攻撃とその対策情報の共有・発信
- ・厳選された充実のハンズオントレーニング
- ・講演終了後にスピーカーと通訳付で直接話せる「スピーカーテーブル」付
- ・全編同時通訳付き
- ・CISSP 保有者はCPE クレジットが取得可能



■ブリーフィングス (Briefings) について

2トラック同時進行で12の講義と1つの基調講演を予定。海外から世界トップクラスのセキュリティ専門家が来日し、コンピュータセキュリティに関する最新の技術トレンドや、新たに発見された脆弱性と保護対策技術が発表される。スピーカー申込(Call For Paper)は8月15日締め切られ、厳選トピックが発表された。

詳細: <http://www.blackhat.com/html/bh-japan-07/bh-jp-07-jp-schedule.html>

<<ブリーフィングス 講演者リスト>>

1. [基調講演]情報セキュリティ管理のための新しい技術 by 山口 英(奈良先端科学技術大学院大学)
2. DHCPによるパッシブなOSフィンガープリンティング by David LaPorte
3. 101号室からの手紙 by Kenneth Geers
4. DNS PinningとソケットAPIについて by 金床
5. エミュレート環境でのワイヤレスデバイスドライバのStateful Fuzzing by Clemens Kolbitsch
6. ファジングは最悪だ! (あなたの思うようにファジングするには) by Pedram Amini & Aaron Portnoy
7. マルウェアの分類とアンパッキングの自動化 by Halvar Flake
8. ハイパーバイザーを徹底的に楽しむ: Windows Server Virtualization by Brandon Baker
9. 小さなハイブリッドウェブワームにできること by Billy Hoffman
10. URIの使用と悪用 by Nathan McFeters, Billy Rios, Rob Carter
11. バーチャルマシンのハイジャックの可能性 by Nguyen Anh Quynh
12. .NET フレームワークでのマルチプラットフォーム型マルウェア by Paul Sebastian Zeigler
13. スタティック分析によるセキュアプログラミング by Jacob West

■トレーニング (Training) について

最近巧妙化する詐欺やウイルスに利用されるマルウェアソフトに対抗する技術の実践コース、NSAの認定書が発行されるINFOSECアセスメント方法論コース、攻撃に備える技術を学べる実践コースの3コースの開催を確定した。10月23日と24日の2日間修了で全コースが同時進行する。参加費は各コースによって異なるため、詳細は各コース詳細を参照。

詳細: <http://www.blackhat.com/html/bh-japan-07/train-bh-jp-07-jp-index.html>

<<トレーニングコースリスト>>

- 1) 米国国家安全保障局 (NSA) INFOSEC アセスメント方法論 (IAM) : レベル1 by Security Horizen 社
<http://www.blackhat.com/html/bh-japan-07/bh-jp-07-tr-jp/train-bh-jp-07-jp-nsa-iam.html>
昨年開催して大変好評を博したコース。必須事項全てを満たした受講者は、米国国家安全保障局 (NSA) 認定書が得られます
- 2) Windowsのマルウェア検出と分析、リバースエンジニアリング by Pedram Amini 他
<http://www.blackhat.com/html/bh-japan-07/bh-jp-07-tr-jp/train-bh-jp-07-jp-pa.html>
スピードが求められるマルウェア検出と分析のため、現実のウイルスサンプルを使ったリバースエンジニアリング・テクニックとその熟練者の視点を学習できるハンズオンコースです
- 3) Hacking by Numbers : Bootcamp Edition (ブートキャンプ版) by SensePost 社
<http://www.blackhat.com/html/bh-japan-07/bh-jp-07-tr-jp/train-bh-jp-07-jp-sp-b.html>
毎年USAでも非常に人気の高い、攻撃者の思考・技能・テクニックをメソッド+ハンズオン実習で学習し、その対抗技術をマスターする非常に実用的なコース



【Black Hat とは】

Black Hat（ブラックハット、現CMP社デジタルセキュリティ部門）は、世界規模の企業や政府関連機関のセキュリティ専門家に高度な教育を提供しつつつづけているセキュリティシンクタンクである。Black Hatの使命の核はコンピュータアンダーグラウンドの優秀な頭脳とセキュリティ専門家をミックスさせることであった。それは世界トップレベルのセキュリティ技術者による最新のセキュリティ情報を提供し続けることで有名なカンファレンス『Black Hat Briefings』にいたる。特定企業に依存しないベンダー中立の立場から常に最新の脅威と対応策が議論される場所として機能している。

1997年より米国にて毎夏開催される『Black Hat USA』では、2006年の参加者数は4000人を超えた。毎春の『Black Hat Europe』、毎秋の『Black Hat Asia』も定着し、全世界でのセキュリティ情報の発信源となっている。Black Hatはカスタマイズトレーニングも提供している。Amazon.com社、マイクロソフト社、NSA(米国国家安全保障局)他との仕事経験を有す。

詳細：<http://www.blackhat.com/>

【財団法人インターネット協会とは】

財団法人インターネット協会（IAJapan: Internet Association Japan）は、「日本インターネット協会」（1993年12月設立）と「電子ネットワーク協議会」（1992年10月発足）との統合により2001年7月に設立された公益法人で、インターネット関連組織と個人会員を保有している。インターネット関連技術の最新動向の情報提供や、セミナー開催や研究部会活動、IPv6普及促進活動、インターネット利用におけるルール&マナー集の作成、人材育成のための研修事業などを中心とする活動を行っている。

詳細：<http://www.iajapan.org/>

【CMP Technology社とは】

CMP Technology（CMPテクノロジー社、代表：Steve Weitzner、本拠地：米国ニューヨーク州マナセット）は、信頼できる情報を提供するブランドとして多くの技術専門家からの信頼を得た、技術産業に役立つマーケティングサービスプロバイダーである。売り手と買い手が最も効率的に交流できるチャンスを提供している。CMPは、英国に本部を置く国際総合メディア企業であるUnited Business Media(ユナイテッドビジネスメディア、<http://www.unitedbusinessmedia.com>)のB2Bメディア部門が国際的なビジネスメディア企業として展開している。

詳細：<http://www.cmp.com/>



【協賛スポンサーの紹介】

製品購入決定権を持つ多くの企業のCTOやCIO、セキュリティ関連研究・開発者、ネットワーク/システム開発・管理者、政府系、IT系、金融系関係者が多数参加する『Black Hat Japan』では、協賛企業および団体を募集中。

現在決定している今年の協賛スポンサー企業・団体は以下の通り。

エメラルドスポンサー：ネットワンシステムズ(株) <http://www.netone.co.jp/>

ダイヤモンドスポンサー：住商情報システム(株) <http://www.scs.co.jp/>

シルバースポンサー：(株)日立情報システムズ <http://www.hitachijoho.com/>

セキュアコンピューティングジャパン(株) <http://www.securecomputing.co.jp/>

日本ベリサイン(株) <http://www.verisign.co.jp/>

Qualys Inc. <http://www.qualys.com/>

ブロンズスポンサー：ネットエージェント(株) <http://www.netagent.co.jp/>

セキュリティフライデー(株) <http://www.securityfriday.com/jp/>

(株)セキュアスカイ・テクノロジー <http://www.securesky-tech.com/>

メディアパートナー：サイボウズ・メディアアンドテクノロジー(株) <http://www.netsecurity.ne.jp/>

ハッカージャパン <http://www.byakuya-shobo.co.jp/hj/>

(株)オライリージャパン <http://www.oreilly.co.jp/>

@IT：アイティメディア(株) <http://www.atmarkit.co.jp/>

技術評論社：ソフトウェアデザイン <http://www.gihyo.jp/>

共催団体：財団法人インターネット協会(IAJapan) <http://www.iajapan.org/>

協賛団体：社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA) <http://www.jaipa.or.jp/>

特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA) <http://www.jnsa.org/>

独立行政法人情報処理推進機構(IPA) <http://www.ipa.go.jp/>

[本件に関するお問い合わせ先]

Black Hat - CMP Media

Japan Operation 担当者：篠田佳奈

Tel：080-5081-3559

Fax：020-4669-6973

e-mail：bh@japan.name

URL：<http://japan.blackhat.com/>